

## 【試合前後に気をつけていただきたいこと】

- ① 「コート状況」「ネットのセンターの高さ」「ネットの破損」「ネットの緩み」「スコアボードの状況(番号が若い方が上部または左部)」や、ベンチ・審判台の位置など、試合をする上で不備がないかの確認。
- ② 空いたコートの確認、次の試合の確認、審判(SCU)の有無、選手の確認、試合・審判の引継ぎなど。
- ③ 試合前の円陣を組んでの声出しや、コート外との選手とのタッチや会話をしないように確認。
- ④ 試合後、審判以外の選手・監督を速やかにコートから出させる。

## 【試合中に気をつけていただきたいこと】

裏面の『「SCU(ソロチェアアンパイア)」と「プレーヤー」の確認事項』を、審判講習で選手全員に伝えていきますので、できていない状況が見られた場合は対応してください。

(試合が動かない時や、気が付いたことがあった時は、積極的にコートに入ってください)

※ 「イン・アウト・フォールト」のオーバールールは、巡回しているレフェリー・アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアのいずれかも行うことができる。ただし、この場合 1 度目はポイントレット(ポイントのやり直し)となる)

※ 巡回しているレフェリー・アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアのいずれかが「フットフォールト」を確認した場合は、ポイント間にコートに入り、SCUに「フットフォールト」をした場合は「フォールト」を取るように伝える。

## 【その他】

- ① 「ポイント間(25 秒)」「エンドチェンジ(90 秒)」「タオルをベンチ以外に置いている」など。
- ② 「ヒンダランス」は妨害を受けたプレーヤー・チームからの申し出により判断する。  
(レシーバーのパートナーが、サービスの前に必要以上にラケットや体を動かす行為に対し、「妨害」と判断できる場合など)
- ③ ポイント決定時の「相手に向かってのガッツポーズ」や「周囲の試合に影響するような、必要以上の大声での叫び声」など。
- ④ 「ベンチの監督の提訴や不自然な様子」、「試合中のコーチングや両面の試合の応援をしている」など。
- ⑤ 「校名札なしは確認次第直ちに指導」、「ウェアは試合後指導、次の試合までに準備」です。

※ 「判定・裁定を下した場合は、必ず本部(レフェリー・アシスタントレフェリー)に連絡してください。」

※ 「少しでも判断に迷う場合は、判定・裁定をする前に、必ず本部(レフェリー・アシスタントレフェリー)に連絡して判断を仰いでください。」